



明治三十六年三月

元山居留民より農商務省地質調査所  
送付土塊調査方之圖元件

外務省

抄本

明治廿六年二月廿三日

臺灣通商

在韓國元山港日本領事館

公第一五號

受第二四〇九號

土質調査ニ関シ照会方依頼ノ件

當港在留民村主陸左右ノ農商務省地質調査  
査沙ノ土塊送付致シテ其地質調査方ニ  
關シ日人ノ一般知識ノ得テテ其地質調査方  
ニ照会方可代送致シテ其地質調査方ニ進  
致具

在元山

領事館事務代理 岩崎三



外務大臣男爵中村嘉太郎殿

三十二年三月三日

3-1273

0298

明治三十五年二月二十七日 起 皇太后  
明治三十五年三月二日 發遣  
14

明治三十五年二月二十七日 起 皇太后  
同 年 三月二日 發遣

主任

通商局長

長官

長官

長官

長官

二十六年五月三十日

外務省

韓國釜山港居留民村多隆在右一覽省地價

浦香路(玉塊)送舟航路其地價浦香路

回人今般紙三通り申渡其地在日地席小

領事館事務地價三通り申渡其地在日地席小

加計三通り申渡其地在日地席小

加計

一紙分所了事り甘原申渡其地送一

有山...  
ナラン

實錄第二四號

三〇八〇號

韓國釜山港居留民村に隣在る申請之土壤  
調査之件矣有地務長官より本署地務長  
官に提出照会し該土壤然るに本人提出ノ方面ニハ  
單ニ土壤調査ノ有之何分漠然要領ヲ得  
畢竟調査ノ目的ハ如何ナル用途ニ供スルモノニ在  
其目的明瞭セサル本署ニ於テモ取扱難ク  
右ノ點ニ於テ照会也

地質調査所長

明治三十二年三月廿七日  
農商務省農務部博士巨智部忠

三十二年三月廿七日

農商務省

外務省通商局長 杉村濤毅

(江口商店製)

總務官

代

文書課長



明治三十六年二月十一日發遣

24

文書課長

明治三十六年二月十日發遣

通商局長

主任

大臣

外務省

第一七號

地質調査の件

其地並に村に墜たるる地質調査の件

外務省

油蔵の土壌調査の件

越前守の二月十日の付書に於て、本年十一月に於て、上津之類に於て、油蔵調査の件、今般分若

り、其の調査の件、油蔵調査の件、土壌調査の件、有、何れも調査の件、油蔵調査の件、土壌調査の件、

目的の調査の件、油蔵調査の件、土壌調査の件、目的の調査の件、油蔵調査の件、土壌調査の件、

有、何れも調査の件、油蔵調査の件、土壌調査の件、有、何れも調査の件、油蔵調査の件、土壌調査の件、





昭和六年四月九日

農務局



三七

受第 五三三三 號

地質調査之果之報告

農地調査所、土壤送付、上項報告、  
 其結果、及、  
 提出、書面、  
 報告、目的、  
 差、  
 文、  
 在韓國元山港  
 日本領事館  
 昭和六年四月九日

知事 坂本 代理 岩崎

外務大臣 岩崎 代理 岩崎

一、各郷土、  
 二、各郷土、  
 三、各郷土、

類等  
三  
七  
六  
五  
四  
三  
二  
一  
教  
廿  
叔  
等  
裁  
培  
適  
否  
的  
ハ  
主  
ト  
シ  
テ  
果  
樹  
蔬  
菜

在韓國元山港

日本領事館

05

10



九  
九

明治六年

文書綴帳

明治六年四月二十一日

99

明治六年四月二十一日  
同 年 月 日  
起草 日  
發遣

通商局長  
杉村

主任

二六六

外務省

外務省通商局長杉村

外務省通商局長杉村

外務省通商局長杉村

外務省

外務省通商局長杉村

外務省通商局長杉村

外務省通商局長杉村

外務省通商局長杉村

外務省通商局長杉村

外務省通商局長杉村

外務省通商局長杉村

外務省通商局長杉村

3-1273

0305



明治廿八年五月廿八日起草  
同 年 六月 一日發遣

主任



40

送蒙 三可九 號

杉本行長

農商務省農務局長 櫻井 敬

理学博士 巨野 忠 康 殿

大 地 原 村 長

二十六年六月二日附録

外務省

五月廿四日付 農務省 農務局長 櫻井 敬 殿

候在之 大 地 原 村 長 櫻 井 敬 殿 出 願 之 係 之 上 場

請 示 一 件 之 別 今 般 用 人 之 別 之 上 場

候 時 候 櫻 井 敬 殿 及 其 由 農 務 省 農 務 局 長 櫻 井 敬 殿

斗 之 係 之 上 場 之 申 出 之 係 之 上 場

3-1273

0307

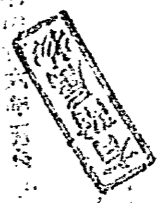
74/11

明治廿八年五月廿八日 起草 本日  
同 年 六月 日發遣



信

主任



40

送葉 三可九 辨

おお町長

農務省農務局長 農務省技師

忠系殿

本件土地、在皇土常同、報告番号五三三号  
(世六奉五月十日付) 所屬土地、誤テ送付セシマシム

外務省

五月廿日付送付ノ事、予ラ、  
候在之、送付、陸方、出願、係、土地、  
調査、ノ、件、ニ、関、シ、今、般、用、人、事、別、記、土地、  
送附、致、候、間、及、所、屬、所、属、可、知、事、  
平、等、事、出、申、付、申、付、

3-1273

0308

公第一一號

地質調査ニ関スル件

當港居留民村主隆左衛門ヨリ農商務省地質調査部ニ土壌送付ノ上調査ヲ發出スルニ就テハ本年二月十四日附公第一五號信ヲ以テ同部ニ照會方依テ進主ニ知照ハ何公送然要領ヲ以テ不畢竟調査ノ目的ハ如何ナル用途ニ供スルモノナルヤ云々  
同部ヨリ回答付事共進主ニ三月十三日附送第一七號信ヲ以テ進主ニ知照ハ右調査ノ目的ハ如何ナル用途ニ供スルモノナルヤ云々  
三月十三日附公第一五號信ヲ以テ同部ニ照會方依テ進主ニ知照ハ何公送然要領ヲ以テ不畢竟調査ノ目的ハ如何ナル用途ニ供スルモノナルヤ云々

在韓國元山港

日本領事館

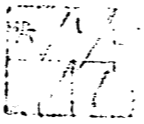
之趣ヲ以テ同部ニ督促方テ該部ヨリ如何ノ面ニ由ルニ進主ニ一應同調査部ニ送附候  
事成テ極細心ニ知照ハ何公送然要領ヲ以テ不畢竟  
明治三十二年十月十四日

在元山

副領事 大木安之助



外務大臣男爵小村壽太郎殿



明治三十四年十月廿七日

文書録

明治三十四年十月廿七日

48



明治三十四年十月廿七日  
同日發着

主任



外務省

杉おる

巨智部地債調査書

地債調査書

外務省

本年三月十日送附一書籍一ヲ以テ當省  
 総務省及手書局迄送附及手書局迄送  
 附、其先山港村主隆太郎ノ係ニ據  
 調査書一冊、其レテ今何号ノ返書  
 書ニ對シテ、其ノ結果ヲ報告スル旨申出  
 上、其レテ在日地債調査書一冊、其  
 中、其レテ在日地債調査書一冊、其  
 中、其レテ在日地債調査書一冊、其

世政中  
世政中  
世政中

外務省

3-1273

0311

Vertical handwritten text on a slip of paper at the top of the page.



明治三十二年十一月十四日 農商務省 第三〇九〇號

貸發第 八 号

受第 二 四 六 九 〇 號

本年三月二十日 区才二三四 號  
右記 存 在 右 記 轉 入 山 港 振 興 局  
内 記 存 在 右 記 轉 入 山 港 振 興 局  
得 以 說 明 存 在 右 記 轉 入 山 港 振 興 局  
存 在 右 記 轉 入 山 港 振 興 局  
存 在 右 記 轉 入 山 港 振 興 局

明治三十二年十一月十四日

山 港 振 興 局 印



山 港 振 興 局 印

農 務 省

Table with multiple vertical columns, mostly empty, possibly for recording details.





土壤試験成績

農商務省地質調査所

農  
商  
務  
省

3-1273

0314

土壤試驗成績		地 名	川 根	川 高	城 畝	谷
土 性		性 質	壤 土	礫 質 壤 土	壤 土	砂 質 壤 土
粒 經		洗 滌 分 析				
		氣 乾 土 百 分 中				
一〇ミリメートル以上	二、二一	七、九一	〇	〇	〇	〇
一〇乃至八ミリメートル	〇	〇	〇	〇	〇	〇
八全六ミリメートル	〇	一、四七	〇	〇	〇	一、六四
六全四ミリメートル	〇、一〇	〇、八一	〇	〇	〇	一、四五
石 礫 合 計	二、三一	一〇、一九	〇	〇	〇	三、九九
原土中細土百分率	九七、六九	八九、八一	二〇、〇〇	〇	〇	九六、〇一
細土百分中組成分						
四乃至三ミリメートル	〇、六四	五、四〇	三、二〇	五、七六		
三全二ミリメートル	〇、四〇	二、八〇	一、二四	四、九六		
二全一ミリメートル	二、六〇	八、六四	二、九二	一、二八		
一全〇、五ミリメートル	三、三六	七、〇〇	四、八〇	一、三九	六	
〇、五全〇、二五ミリメートル	八、〇八	一、三二	一、四八	一、〇六	〇	
〇、二五全〇、一ミリメートル	九、三二	六、二四	九、八〇	九、六四		
〇、一全〇、〇五ミリメートル	一、五〇	三、九二	一、九七	五、七二		
〇、〇五全〇、〇一ミリメートル	二〇、〇四	一、三、四四	一、四四	一、二、八〇		
〇、〇一ミリメートル以下	四〇、五六	四、二、二四	三、三、〇〇	二、五、二八		
細微土百分中組成分						
〇、〇五乃至〇、二五ミリメートル	八、六九	一、四、八六	一、六、九三	一、六、五五		
〇、二五全〇、一ミリメートル	一〇、〇二	八、一九	一、一、一六	一、五、〇五		
〇、一全〇、〇五ミリメートル	一、六一	一、一三	五、一五	二、二、四五	八、九三	
〇、〇五全〇、〇一ミリメートル	二、一、五五	一、七、六五	一、三、〇二	一、九、九九		

農 務 省

0.01mm以下	43.61	54.15	36.43	39.48
細土中細微土百分率	93.00	76.16	87.84	64.04
原土中細微土百分率	90.85	68.39	87.84	61.48
地名	楊	口	杆	城
土質	砂質壤土	壤質砂土	砂	土
性	砂質壤土	壤質砂土	砂	土
洗滌分析	氣乾土百分中			
粒經	氣乾土百分中			
1.0mm以上	0.4			
0.75mm以上	0			
0.5mm以上	0			
0.25mm以上	1.77			
石礫合計	2.22			
原土中細土百分率	97.78	100.00	100.00	
農商務省	細土百分中組成分			
4.75mm以上	4.86	1.48		0
3.00mm以上	6.04	1.24		0.16
2.00mm以上	11.12	2.80		0.12
1.50mm以上	12.90	9.92		1.08
0.75mm以上	21.12	14.92		7.24
0.25mm以上	99.44	14.76		34.24
0.15mm以上	72.28	19.12		27.40
0.075mm以上	11.38	15.12		16.60
0.01mm以下	23.36	20.64		13.16
細微土百分中組成分				
0.5mm以上	18.91	17.64		7.34
0.25mm以上	15.51	17.46		34.71

0.1mm以下	11.36	22.61	27.78
0.05mm以下	17.76	17.88	16.83
0.01mm以下	36.45	24.41	13.34
細土中細微土百分率	64.08	84.56	98.64
原土中細微土百分率	62.66	84.56	98.64

通川 本土壤 組織状態ハ之ヲ洗滌分析ノ試験成績ニ依リテ檢核スルニ原土ハ石礫ヲ挾雜スルモ僅ニ百分中二三ニ過キスニテ殆ント細土ヨリ組成セラレ、土壤トシテ細土組織中粗粘土分(粒徑0.01mm以下)以下ノ土粉ヲ粗粘土分ト云フハ多量ニ含蓄スト至ルニ細微ナル砂粒モ亦乏シカラスニテ壤土ノ性質ヲ帶フルヲ以テ植産壤土ニ屬スヘキ土性トス

農 商 務 省

狼川 本土ノ器械的組成分ヲ見ルニ全組織百分中一〇以上ノ石礫ヲ含有シ細土中粗粘土分ハ稍々多量ニ含蓄シ粘性ニ富メルカ如シト至ルニ精粗ノ砂粒ヲ含有スルコト多分ナレハ著シク粘厚性ヲ減殺スルヲ以テ本土性ハ礫植産壤土ニ屬ス

高城 本土壤ノ組織ヲ檢スルニ原土ハ全ク石礫ヲ挾雜セス細土中細微土ハ其量多クシテ比較的粗大ナル砂粒ヲ含ムコト少シ又細微土中壤質土粉ハ其現量粗粘土成分ニ對スル適度ヲ得全般ノ組織ニ及ボス状態其當ヲ得タルモノ、如シ而シテ土性ハ壤土ニ屬スヘキモノトス

歛谷、楊口 兩地土壤ノ組織ハ稍々輕鬆ニシテ粘質ニ乏シク多量ノ砂粒ヲ含有スト至ルニ粗粘土分ヲ適



量ニ含蓄スルヲ以テ砂質壤土ニ屬スヘキ土性トス  
 杆城 本土ノ畚械的組成分ハ全土殆ント精粗  
 ノ砂粒ヨリ成リ粗粘土分ハ比較的少量ニ存スル状  
 態ナルヲ以テ壤質砂土ニ屬スヘキ土性タリ  
 安辺 本土壤ハ其組織中粗砂ト稱スル組成分  
 ハ之レヲ含蓄スルコト少量ニシテ全土百分中ニ〇  
 ヲ出テス粗粘土分ノ如キモ亦其含量多カラズシテ  
 殆ント細微ナル砂粒ヨリ構成セラレ要スルニ本土  
 性ハ細粒ナル砂土ニ屬スベシ  
 以上試験セシ成績ニ依ルニ其土性ハ概シテ精粗ノ  
 砂粉ニ富ミ粘質ニ失セス果樹蔬菜穀菽等ノ栽培地  
 トシ適當ナルモノトス  
 化学的組成分及其分量ハ送附ノ標本少量ニシテ  
 農 商 務 省  
 化学的分析試験ヲ施行シ能ハサルヲ以テ之ヲ窺知  
 スヘカラス從テ補肥ノ種類ヲ説明シ能ハス

急

文書部長

明治卅六年十一月十九日發

明治三十五年十一月十七日起  
同 卅一年 二月二十日發

別紙

22

郵局長

主任

第九八

少府大臣

在元

大木副使事

外務省  
大木副使事

外務省

皇朝以前朝也、其地在居民古至隆古君  
 田、係、土壞台新、伴、洗滌台折  
 試驗、施行、結果、好、試、通、高、之、旨  
 今般、善、者、始、者、一、田、按、之、旨、始、也、  
 事、通、也、方、以、為、中、亦、成、分、世、改、回、各、中  
 也、也

副使、佐、藤、芳、一、田、按、之、旨、爲、案、也、

3-1273

03 19

明治三十二年十一月九日  
公第一二九號

普通通商

受第一六一四六號

土質調査ニ関スル件

去月二十日付送芽丸八舞ヲ以テ当地在留民村  
主陸左右出取ニ係ル土壌分析試験成績表  
取回付取付方中越、返了悉然ル右ハ  
亦人出取ノ土壌トハ全然相違沙粒リ全ク  
本年五月十日付芽丸五三三号添付ノ土壌ト被  
考ル就テハ本年二月十四日付芽丸一五号ヲ  
以テ中進中亦人出取ノ土壌成績表回送  
方其以時ハ取照會付取付様及後法受中  
進中致具

明治三十二年十一月九日

在韓國元山

在韓國元山港

日本領事館

副領事 大本安三



外務大臣男爵小村寿太郎殿



急

文書課長



明治廿六年十一月廿四日 陸外務省 陸外務省 陸外務省

明治廿六年十一月廿四日 陸外務省 陸外務省

主任



杉村局長

芝元尖木副領事

土質調査の件

外務省

十月九日付芝元三九群ヲ以テ其地也國民村  
立隆左君ヨリ領土質分析試験申付請書  
お事ニ付 芝元君大由先ヨリ申越越了  
系左君地質調査ノ就テ取調書見取初  
却ノ事 芝元君ヨリ送付土壤ノ部稅  
先辨ニテ故芝元君ノ送付方取印ニ越  
旨ニテ先令後 芝元君ヨリ送付土壤  
芝元君 土質調査ノ件 芝元君ヨリ送付土壤

送附部高ノ内國ノ以建ノ書ノ及次第ノ旨  
尚未可也然ノ土塊ノ前陳ノ通也然ノ手  
元ノ通也及第ノ家ノ分ノ土塊再  
提也然也然ノ一ノ年也其也中世

外務省